

ネットワークボード

たまり場ぱれっと劇団レインボー結成 5 周年記念公演のご案内です。今回の演目は「音楽劇風 おおきなかぶ」。5 年間の活動中、コロナウィルスの影響で立ち上げてすぐの 2 年近くはほとんど活動できませんでしたが、それでも発声練習や体操など、基礎練習も含めて地道にがんばってきました。今年の春先から今回の演目に取り組み、ようやく本番を迎えます。メンバーも増え、総勢 24 名での公演です。歌あり、ダンスあり、そしてスペシャル企画としてぱれっとハーブ教室の演奏発表会あり。サブタイトル「一人はみんなのために みんなは一人のために」。力を合わせてご観覧の皆様には素敵なステージをお見せできるよう、がんばります。ぜひ！（編集部）



上演時間は 2 時間を予定しています

■11/29 地域交流センター恵比寿コミュニティホール

13:15 開場 14:00 開演

■12/13 地域交流センター新橋 コミュニティホール

12:30 開場 13:00- ぱれっとハーブ教室演奏会

14:00- おおきなかぶ 開演

観覧無料

お申込みは⇒

【問い合わせ】03-5766-7302 南山



編集後記



この編集後記を執筆している 10 月下旬、1993 年に建てられた旧えびす・ぱれっとホームの建物が、その役目を終えようとしています。1993 年というと私が勤めていた「スリランカレストランぱれっと」の 3 年目の年。バブルの崩壊により日本の経済に暗い影が忍び寄ろうとしていた時代でしたが、当時の関係者の「地域の中に住まいを！」という声と力を結集してスタートを切った事業でした。今年「えびす・ぱれっとホーム」は隣接する「ぱれっとの家いこっと」と統合され、引っ越した入居者の暮らしはまだこれから続いていきますが、一方で、誰もいなくなった建物を見ていると、時代の移り変わりを感じずにはいられません。大家さんの長年にわたるご支援にも感謝したいと思います。

奇しくも、去る 9 月にはスリランカから、現地にグループホームを創設すべく幹部職員を招聘、学びの場を提供し、その報告を今回の特集で掲載しました。実現に向けては運営面や資金面などまだまだ課題が横たわっていると思いますが、現地スタッフ、そしてご家族の真剣な眼差しから「何とかしなければ」という意気込みが伝わってきて、当時のぱれっと関係者のそれと重なる部分が多々ありました。こうして想いは形となって引き継がれていくのだなと思っているところです。

法整備が進み、1993 年から比べると事業の環境はかなり改善されましたが、制度も整っていない時代に皆で立ち上げた背景を知る者としては、様々な思い出を刻み込んだ旧えびす・ぱれっとホームの静かな佇まいに、「32 年間、本当にお世話になりました」と頭を下げたい想いです。（みなみやま）